

講座名：現代日本メディア・ジェンダー研究

注 意 事 項

1. この回答は、口述試験時に参考とする重要な資料です。回答の内容は入学試験の合否判定には直接影響しませんが、回答を提出しない場合は、口述試験を受験する意思がないとみなします。
2. 手書き又はパソコンで作成してください。
3. 回答の1枚目冒頭に、受験番号・氏名・志望講座名を明記してください。
4. 作成した回答はPDFファイル形式で提出してください。
5. 回答作成の際に適宜資料を閲覧しても構いませんが、引用もしくは参照する際には必ず出典を明記してください（Chat GPTなど生成AIの回答を含む）。
6. 回答は、他者と相談・協力等を行わずに、受験者本人が一人で作成してください。
7. 回答は口述・面接試験まで保管してください。課題及び課題の回答を見ながら口述・面接試験を行う場合がありますので、試験当日は、課題及び課題の回答をプリントアウトして、手元に準備してください。
8. 課題内容を他所に掲載・転載すること、および他者への配付を禁じます。
9. 下記の方法で提出してください（電子メールでの提出は認めません。）。

提出期限：1月13日（火）17：00（日本時間）【必着】

提出方法：TAOのメッセージ機能にアップロードすること

提出先：東北大学大学院国際文化研究科教務係

令和8年度(2026年度)後期3年の課程 (春季)	志望講座	現代日本メディア・ジェンダー研究
------------------------------	------	------------------

1945年以降に施行された経済政策の中で、日本社会に特に影響を与えたと思うものを一つ挙げ、ジェンダーの視点から分析しなさい。1500字程度の日本語で述べなさい。